

よみがえる！中井の郷土資料

その10

五所八幡宮のお祭りの

魅力を知る①

五所八幡宮のお祭りをもっとよく知るために、専門の先生が調査をしています。今回、その途中で分かったことを町の皆さんにお話しする「活動報告会」を開きます。ここでは、お話しする3人の先生のうち、太鼓や笛など「音」の調査をしている浜野先生にインタビューしました。

浜野先生が調べているのは、五所宮ごしょのみや囃子ばやしという、四地区が受け継いできたお囃子です。ほかの町のお囃子とくらべると、五所宮囃子には「シャギリ」という、とてもテンポが速い太鼓の演奏があります。これは、お囃子の始



半分形の囃子

りと終わりに2人で打つものです。そして神輿が神社を出発するとき、四地区が順番に3回繰り返して打つ「シャギリ三番流し」となります。これは、ほかの地域ではほとんど見られないものだそうです。

調べていく中で、おもしろい発見もありました。平塚あたりでは締太鼓は新しい革がよいとされますが、「古い革のほうが高くてきれいな音がする」と言う人もいらつしやったことです。また、「シャギリ」を立って叩く地区と座って叩く地区があり、こうした違いが音やリズムにどう関わるのか、今後明らかにするそうです。

報告会では、使っている楽器のこと、「シャギリ三番流し」の秘密、小田原ばやしの歴史や広がり、そして「シャギリ」という名前の由来など、聞いてみたくなる話が盛りだくさん。お祭りをもっと楽しむヒントが見つかるはずです。ぜひ会場で、一緒に五所宮囃子の魅力を発見しましょう。

文：槐真史

（中井町教育委員会生涯学習
参与）

監修・写真：浜野達也

（平塚市博物館長）

五所八幡宮祭礼記録作成調査活動報告会

五所八幡宮例大祭は、古くから行われている大祭です。山車は周辺地域には類を見ない装飾が施され歴史的価値が高いと考えられています。鷲の舞も希少性の高いものであるとされていますが、歴史、学術的には解明されていません。

町の歴史文化資源であり地域住民の誇りでもあるこの例大祭を後世に引き継いでいくため、令和7年度から大学教授や博物館学芸員など10名の委員で記録作成調査を行っています。

このたび活動報告会を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ

生涯学習課 ☎(81)3907

日時

3月28日(土) 13時30分～15時30分

場所

農村環境改善センター 2階研修室

内容

小川委員長 「山車」とは何か
三上委員 五所宮の縁起
浜野委員 五所宮囃子の特色

定員

50名

申込み

3月19日(木)までにお申し込みください。

当日参加も可能です。

電話(81)3907 FAX(81)5145
メール shougai@town.nakai.kanagawa.jp



町ホームページ
ID 3537

